

伝統芸能を未来に継承するには 国立劇場おきなわの事例を通して

無形文化財の未来を検討する。

2023年

3月11日(土)

15:00 ~ 17:30

(14:30 開場 / 受付開始)

東京大学本郷キャンパス

法文2号館東 中2階 教員談話室

## プログラム

### ❖ 学生発表

- ❖ 沖縄伝統芸能の保存・継承と  
国立劇場おきなわのこれまでと現在
- ❖ 伝統芸能のアートマネジメント  
- 横浜能楽堂を事例として -

### ❖ パネルディスカッション

- ❖ 伝統芸能を未来に継承するには  
- 国立劇場おきなわの事例を通して -

## パネリスト(五十音順)

- ❖ 喜屋武愛香 (琉球舞踊真境名本流英美の会師範)
- ❖ 鈴木耕太 (沖縄県立芸術大学芸術文化研究所准教授)
- ❖ 林 立騎 (那覇文化芸術劇場なは一と企画制作グループ長)

## コーディネーター

- ❖ 小林真理 (東京大学大学院人文社会系研究科教授)



定員 対面参加 30人・オンライン参加 100人程度

申込期間 2023年3月3日(金)まで

問い合わせ 22nd.bunkashigenforum@gmail.com

参加方法 要事前申込 申込みフォーム →

参加費無料

参加には事前申込が必要です。  
申込みフォームの確認・同意事項  
をお読みのうえお申込みください



文化資源学フォーラム

後援 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団、日本文化政策学会、文化資源学会

主催 東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究室

企画・運営 「文化資源学フォーラムの企画と実践」履修生一同

## 開催概要

2022年に本土復帰50周年を迎えた沖縄は、琉球王国時代からの豊かな芸能の基盤を有している。沖縄の豊かな伝統芸能は、次の50年に向かってどのように保存・継承され、発展していくのか。2004年に開場した国立劇場おきなわは、文化財保護や劇場運営といった文化政策のインターセクションである。そこで、本フォーラムでは文化に関する政策・制度や沖縄における現場の実態を踏まえつつ、沖縄伝統芸能の保存・継承や劇場運営のあり方に精通する関係者を招き、国立劇場おきなわを題材に、対話を通して無形文化財の保護の未来を検討する。

## プログラム

(15:00 開会)

開会挨拶

開催趣旨説明

学生発表① 沖縄伝統芸能の保存・継承と国立劇場おきなわのこれまでと現在

学生発表② 伝統芸能のアートマネジメントー横浜能楽堂を事例としてー

～休憩～

パネルディスカッション 伝統芸能を未来に継承するにはー国立劇場おきなわの事例を通してー

質疑応答

閉会挨拶

(17:30 閉会)

## パネリスト

喜屋武愛香 (きやん・あゆか)



沖縄県沖縄市出身。沖縄県立芸術大学を卒業。琉球舞踊真境名本流英美の会師範。現在、後進の育成をしつつ、国立劇場おきなわ企画公演等、県内外の公演に多数出演。琉球舞踊を基に組踊や創作舞踊等、多岐に渡り活躍している。2022年、第三回喜屋武愛香独演会「愛風」を開催。同年、国立劇場おきなわ企画研究公演「入子躍」振付・指導。2021年、国立劇場おきなわ「第9回創作舞踊大賞」大賞受賞（作品名：若衆鯉）。2020年、沖縄タイムス芸術選奨演劇・映像部門奨励賞受賞。主な創作作品に新作組踊「越来真鶴姫」、新作琉球舞踊組曲「船乗りのジルー」、創作舞踊「若衆鯉」「綾結び」などがある。琉球舞踊を真境名本流英美の会・会主真境名英美に、組踊を重要無形文化財「組踊」保持者・真境名律弘に師事。

鈴木耕太 (すずき・こうた)



沖縄県読谷村出身。沖縄国際大学文学部国文学科を卒業後、琉球大学大学院、沖縄県立芸術大学博士後期課程を修了。博士（芸術学）。琉球文学を基礎とした組踊の研究を行う傍ら、琉球芸能史、および沖縄各地の芸能研究を行う。また、研究だけでなく新作組踊の創作活動も行う。組踊研究について第43回沖縄文化協会「仲原善忠賞」を授賞。新作組踊は第1回国立劇場おきなわ新作組踊戯曲大賞で佳作、第17回おきなわ文学賞（しまくとぅば演劇戯曲部門）において佳作、第2回国立劇場おきなわ新作組踊戯曲大賞で大賞を受賞している。近著に『組踊の歴史と研究』、琉球文学大系14『組踊（上）』がある。

林立騎 (はやし・たつき)



翻訳者、演劇研究者、劇場職員。現在、那覇文化芸術劇場なはーと企画制作グループ長。訳書にエルフリーデ・イエリネク『光のない。[三部作]』、ハンス＝ティース・レーマン『ポストドラマ演劇はいかに政治的か?』（ともに白水社）。2012年、イエリネク作品の翻訳を対象に小田島雄志翻訳戯曲賞を受賞。2005年より高山明の演劇ユニットPortBに、2014年より相馬千秋のNPO法人芸術公社に参加。東京芸術大学特任講師（2014-17年）、沖縄県文化振興会チーフプログラムオフィサー（2017-19年）、キュンストラーハウス・ムーゾントウルムドラマトゥルク（2019-21年）を経て、22年より現職。

©Hannah Aders

## コーディネーター

小林真理 (こばやし・まり) / 東京大学大学院人文社会系研究科教授

## 参加者同意事項

- ・本フォーラムへの参加には事前申込が必要です。当日参加はできません
- ・オンライン参加には、zoom ミーティングを使用します。接続環境が良好な場所からご参加ください
- ・オンライン参加に必要な zoom ミーティングの URL、パスワード等はオンライン参加応募者におのみ、3月6日（月）以降に通知します。URL やパスワード等の第三者への共有はできません
- ・記録及び広報活動等の目的で録画、撮影及び録音する場合があります
- ・当日体調がすぐれない場合の来場はお控えください
- ・当日マスクを着用されていない場合は入場を断る場合があります
- ・上記の他、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施します
- ・今後の社会状況の変化により中止・延期・開催形式の変更等が生じる場合があります

## 会場アクセス (対面参加)

東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学本郷キャンパス法文2号館東中2階 教員談話室  
東京メトロ丸の内線/都営大江戸線 本郷三丁目駅 徒歩約8分  
東京メトロ南北線 東大前駅 徒歩約15分  
東京メトロ千代田線 根津駅 徒歩約15分

